

平成 26 年 7 月 9 日

<ゴルフ場、ホテル、旅館等の運営&取得 情報>

「高松カントリー倶楽部」(香川県)を取得！

瀬戸内海と瀬戸大橋を見渡す、四国最古のコース。9/1 より運営開始!!

ゴルフ場やホテル・旅館、総合リゾート等の運営&運営支援を通してリゾートの再生・活性化を手掛けるリゾートソリューション株式会社(略称:リソル、東京都新宿区、多賀道正社長)では、このほど香川県坂出市の一般社団法人「高松カントリー倶楽部」と臨時社員総会(平成26年8月25日開催予定)での承認決議等を停止条件として事業譲渡に関する契約を締結、9月1日より運営を開始する予定にしております。

「高松カントリー倶楽部」は1954年に開場した四国最古のコース。四国の玄関、高松市の西20km(高松より車で約40分)坂出市にあって、瀬戸内海国立公園地域内でもある西庄町城山に位置します。標高450メートルの梯状台地に広がる雄大な景観と豊かな自然に恵まれたコース(18ホール、6,320ヤード、パー70)で、とくに高台から見渡す瀬戸内海国立公園と瀬戸大橋の眺望は最高です。

インコース(瀬戸コース)は瀬戸内海に面し、多くのホールから眼下に塩飽諸島や対岸の本州の山並みを望みます。一方、アウトコース(金比羅コース)は対照的に、讃岐平野に光る溜池や向かいに聳える阿讃山脈を一望、とくに2番グリーンからの讃岐富士(飯野山)や3番からの象頭山(金比羅)、6番からの中讃平野や阿讃山脈などの眺めは実に雄大です。

なおコースまでの交通は、瀬戸中央自動車道「坂出IC」より6km。

▼「高松カントリー倶楽部」

